

人気の「食フェス」への参加実態と今後の参加意向を調査

**「食フェス」参加経験者は21.5%で3年前より約6ポイント上昇
20・30代女性を中心に参加経験者が増加したが
今後の参加意向は伸び悩み。「混雑」「コスパが悪い」等が不満**

株式会社リクルートライフスタイル（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：浅野 健）の外食市場に関する調査・研究機関「ホットペッパーグルメ外食総研」（<https://www.hotpepper.jp/ggs/>）は、食に関するフェスティバル（以下「食フェス」）の参加経験と今後の参加意向、好きな点・嫌いな点等に関するアンケートを実施しました。その結果を発表します。

【解説】

毎週末のように、各種会場や野外で開催されるようになった「食フェス」について、前回調査（2016年7月実施）との変化を含め、参加経験と今後の参加意向を調べた。最近3年以内の参加経験では、参加経験者が前回調査15.6%から今回21.5%と、約6ポイント上昇している。「食フェス」のジャンルに関しては、前回調査に比べて「B級グルメ・ご当地グルメ」「肉料理」「ラーメン」等、参加経験率上位のジャンルが順当に参加経験者を増やし、今後の参加意向では「肉料理」が人気を伸ばしている傾向だ。ただし、「食フェス」全体への今後の参加意向は、前回調査に比べて微減（前回57.1%→今回55.8%）となっている。20代女性や50・60代男性では今後の参加意向が前回比プラスなのに対し、40～60代女性や40代男性等、他の性年代では参加意向率が前回比マイナスとなっている。女性では「混んでいる」「座って食べられない」「高い・コスパが悪い」「天候に左右される」「衛生状態が不安」等が、多くの年代で男性よりも不満点として挙がっており、参加者数を順調に伸ばしてきた半面、今後の課題も明らかになった形だ。

【要約】

POINT1 「食フェス」最近3年以内の参加経験者は21.5%。参加率トップ3は「B級グルメ・ご当地グルメ」「肉料理」「ラーメン」・・・P3-4

- 「食フェス」への最近3年以内の参加経験者は21.5%（前回調査比で5.9ポイント増加）。20代女性・30代男女は前回調査比で9ポイント以上の増加を記録。若年層を中心に、ここ3年で「食フェス」の人气が高まってきている。
- 参加率トップ3は「B級グルメ・ご当地グルメ」（39.8%）、「肉料理」（38.2%）、「ラーメン」（31.8%）。
- 参加率トップ3の数値はすべて前回調査比で5ポイント以上増加。

**POINT2 今後の「食フェス」への参加意向は55.8%と3年前に比べ微減
40-60代女性、40代男性等で参加意向が減退・・・P5-7**

- 今後の「食フェス」への参加意向は55.8%。前回調査では57.1%であり、参加意向が1.3ポイント減退。特に、40～60代女性や40代男性等でマイナスが顕著。
- 今後参加してみたい「食フェス」は、伸び幅で「肉料理」が1位。
- 「食フェス」の嫌いな点は「混んでいる」がトップで77.5%。また、前回調査比では「高い、コスパが良くない」「天候に左右される」が各5ポイント以上増加で課題に。

【本件に関するお問い合わせ先】

<https://www.recruit-lifestyle.co.jp/support/press>

調査概要と回答者プロフィール

- ◎調査名 外食市場調査(2019年3月度)
- ◎調査方法 インターネットによる調査
首都圏、関西圏、東海圏における、夕方以降の外食および中食のマーケット規模を把握することを目的に実施した調査(外食マーケット基礎調査)の中で、食フェスの参加経験や参加意向、参加経験のある食フェスの種類、食フェスの好きな点・嫌いな点、食フェスに求めるものの変化などを聴取。
- ◎調査対象 首都圏(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県)、関西圏(大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県)、東海圏(愛知県、岐阜県、三重県)に住む20~69歳の男女(株式会社マクロミルの登録モニター)

■事前調査

- ①調査目的 本調査の協力者を募集するために実施
- ②調査時期 2019年2月20日(水)~2019年3月1日(金)
- ③調査対象 首都圏、関西圏、東海圏に住む20~69歳の男女(株式会社マクロミルの登録モニター)
- ④調査内容 本調査への協力意向、普段の外食頻度、普段の中食頻度
- ⑤配信数 392,387 件
- ⑥回収数 31,701 件
- ⑦本調査対象者数 15,436 件

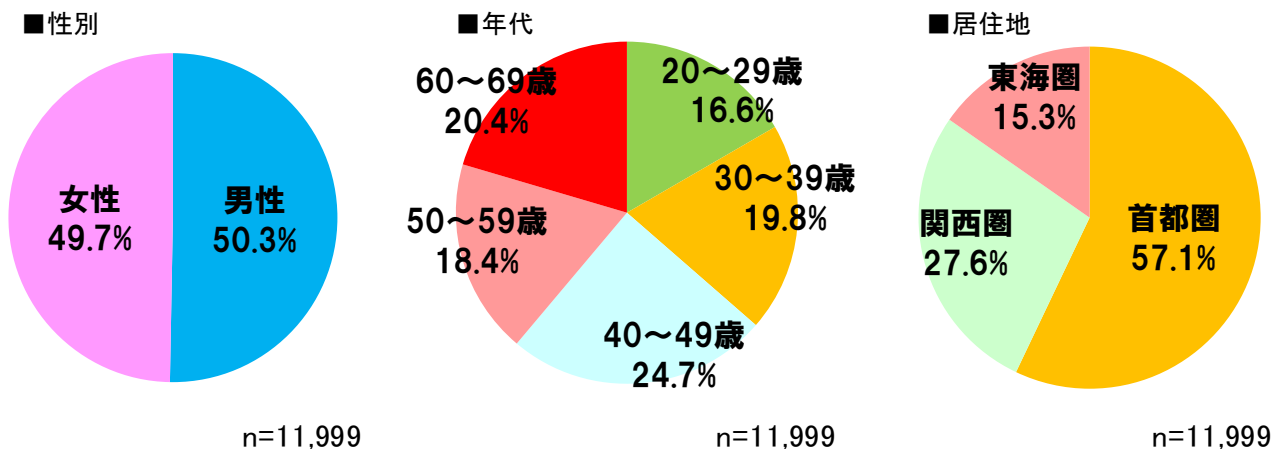
- ◆本調査対象者の割付について
- ・本調査では、回答者の偏りをできるだけなくすために、割付を行って回収した。
 - ・性年代別10区分×地域別25区分(首都圏地域13区分、関西圏地域8区分、東海圏地域4区分)=250セルについて、平成28年人口推計(総務省)に基づき割付を行った。
 - ・本調査の目標回収数は、首都圏4,000s、関西圏2,000s、東海圏2,000s、合計8,000sとした。

■本調査

- ①調査方法 事前調査で本調査への協力意向が得られたモニターの中から、脱落率を加味して設定した必要数をランダムに抽出し、本調査の案内メールを通知。
- ②調査期間 2019年4月1日(月)~2019年4月9日(火)
- ③配信数 15,343 件
- ④回収数 12,089 件 (回収率 78.8%)
- ⑤有効回答数 11,999 件 (首都圏 5,986 件、関西圏 3,081 件、東海圏 2,932 件)
- ※回収された票のうち、自由回答コメントから、趣旨に合わないと思われる票を無効としたほか、事前調査時の普段の外食・中食頻度の回答と、本調査時の1カ月間の外食・中食回数が著しく乖離している場合、事前調査時の住所と、本調査時の住所が、圏域を越えて変わっている場合を無効とした。

- ◆集計方法について
- ・本調査結果は、平成28年人口推計(総務省)における割付(性年代別10区分×地域別25区分=250セル)別の構成比に合わせてサンプル数を補正したウェイトバック集計を行っている。
 - ・補正後のサンプル数は次の通り。
3圏域・計 11,999 件(首都圏: 6,849 件、関西圏: 3,315 件、東海圏: 1,836 件)

◆回答者プロフィール(ウェイトバック後)

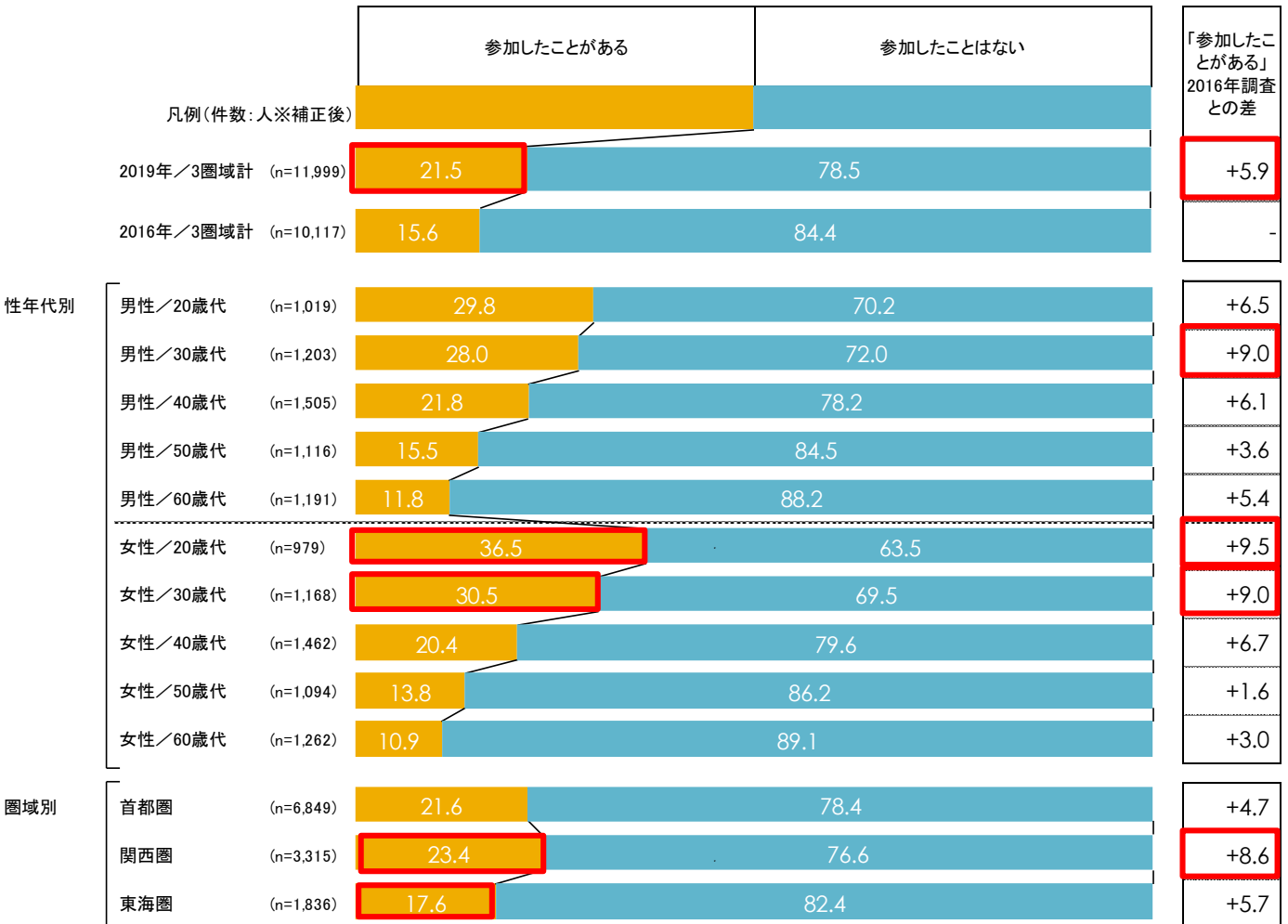


1. 最近3年以内の「食フェス」への参加経験者は21.5%（前回調査比で約6ポイント上昇） 20代女性・30代男女は前回調査比で9ポイント以上の上昇を記録

最近3年以内の「食フェス」への参加経験について聞いた。全体では、21.5%が参加経験ありとしており、約3年前（2016年7月実施）の調査時より、5.9ポイントの上昇が見られた。性年代別では、20代女性が36.5%で最多。次いで30代女性が30.5%となっている。前回調査比では、20代女性と30代男女で9ポイント以上の上昇があり、若年層を中心にここ3年で「食フェス」の人気の高まってきていることが確認された。また、全性年代で前回調査よりも参加経験者が増加している。圏域別では、関西圏が23.4%で最多。逆に東海圏は17.6%と3圏域中では最も参加経験者が少なかった。関西圏は、参加経験者が前回調査比8.6ポイント上昇しており、「食フェス」がこの3年で最も人気の上がった圏域と言って良さそうだ。

■ 最近3年以内の「食フェス」参加経験（全体／単一回答）

（構成比：%）



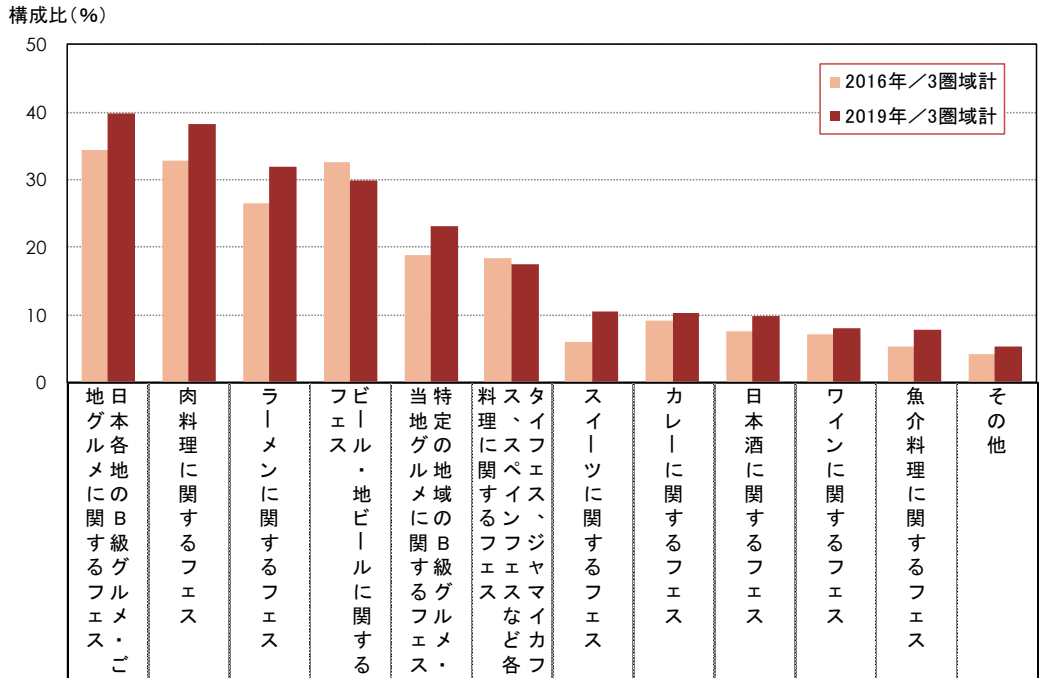
※2016年は、7月1日（金）～7月7日（木）に調査

※「参加したことがある」2016年調査との差：（2019年調査）－（2016年調査）で算出

2. 参加率トップ3は「B級グルメ・ご当地グルメ」「肉料理」「ラーメン」 トップ3の参加率はすべて5ポイント以上上昇

最近3年以内に参加した「食フェス」のジャンルについて聞いた。参加率1位は「日本各地のB級グルメ・ご当地グルメに関するフェス」が39.8%（前回調査比+5.5ポイント）、2位は「肉料理に関するフェス」が38.2%（同+5.3ポイント）、3位は「ラーメンに関するフェス」が31.8%（同+5.4ポイント）だった。トップ3はいずれも前回調査比で5ポイント以上の上昇で順調に人気を集めた。一方、4位の「ビール・地ビールに関するフェス」（30.0%）は、前回調査比で-2.6ポイントと、やや参加率が下がった。3年前と比べると、最近ではレモンサワー等ビール以外の酒類がブームになってきており、影響を受けた可能性も考えられる。

■最近3年以内に参加したことのある「食フェス」の種類 （最近3年以内に「食フェス」に参加したことのある人／複数回答）



（件数：人※補正後）

		2019年/3圏域計	2,581	39.8	38.2	31.8	30.0	23.1	17.6	10.4	10.3	9.7	8.1	7.7	5.2
		2016年/3圏域計	1,575	34.3	32.9	26.4	32.6	18.7	18.3	6.0	9.1	7.6	7.1	5.2	4.2
性年代別	男性/20歳代	304	47.1	48.5	44.9	29.3	21.4	14.1	12.3	15.6	12.6	8.8	13.7	5.1	
	男性/30歳代	337	43.8	50.5	48.6	37.3	23.3	19.3	13.8	15.8	9.8	7.8	11.7	2.0	
	男性/40歳代	327	43.5	41.9	38.8	32.9	23.8	12.7	10.3	13.6	10.4	10.0	8.4	1.8	
	男性/50歳代	172	36.5	30.3	30.6	34.8	22.5	13.7	4.5	8.0	11.2	9.5	6.6	4.1	
	男性/60歳代	141	34.0	24.9	27.1	33.2	29.5	14.0	4.6	10.6	12.7	14.9	7.8	5.9	
	女性/20歳代	357	37.2	39.5	30.1	27.1	19.9	15.8	12.8	7.5	7.7	5.7	4.8	7.4	
	女性/30歳代	356	42.0	39.0	23.3	27.7	26.9	22.7	11.5	8.0	7.9	5.0	6.4	7.9	
	女性/40歳代	298	36.4	29.6	20.1	25.2	19.5	24.2	7.2	7.5	7.7	7.2	2.9	5.5	
	女性/50歳代	151	27.5	28.3	16.2	29.8	22.3	18.8	8.6	1.8	12.1	8.9	5.1	9.5	
	女性/60歳代	137	36.2	23.0	20.0	20.7	25.8	16.3	11.1	8.8	7.6	9.4	8.6	3.8	
圏域別	首都圏	1,480	37.1	39.3	30.7	30.9	21.9	20.8	9.7	10.8	9.3	8.6	8.6	6.0	
	関西圏	777	42.3	39.9	33.5	29.5	24.8	14.1	12.2	10.6	11.0	7.5	7.0	4.2	
	東海圏	324	45.9	28.8	32.8	26.9	24.4	11.2	9.4	7.8	8.3	7.3	5.4	3.7	

※2019年/3圏域計の多い順にソート

太字 3圏域計より5ポイント以上高い項目

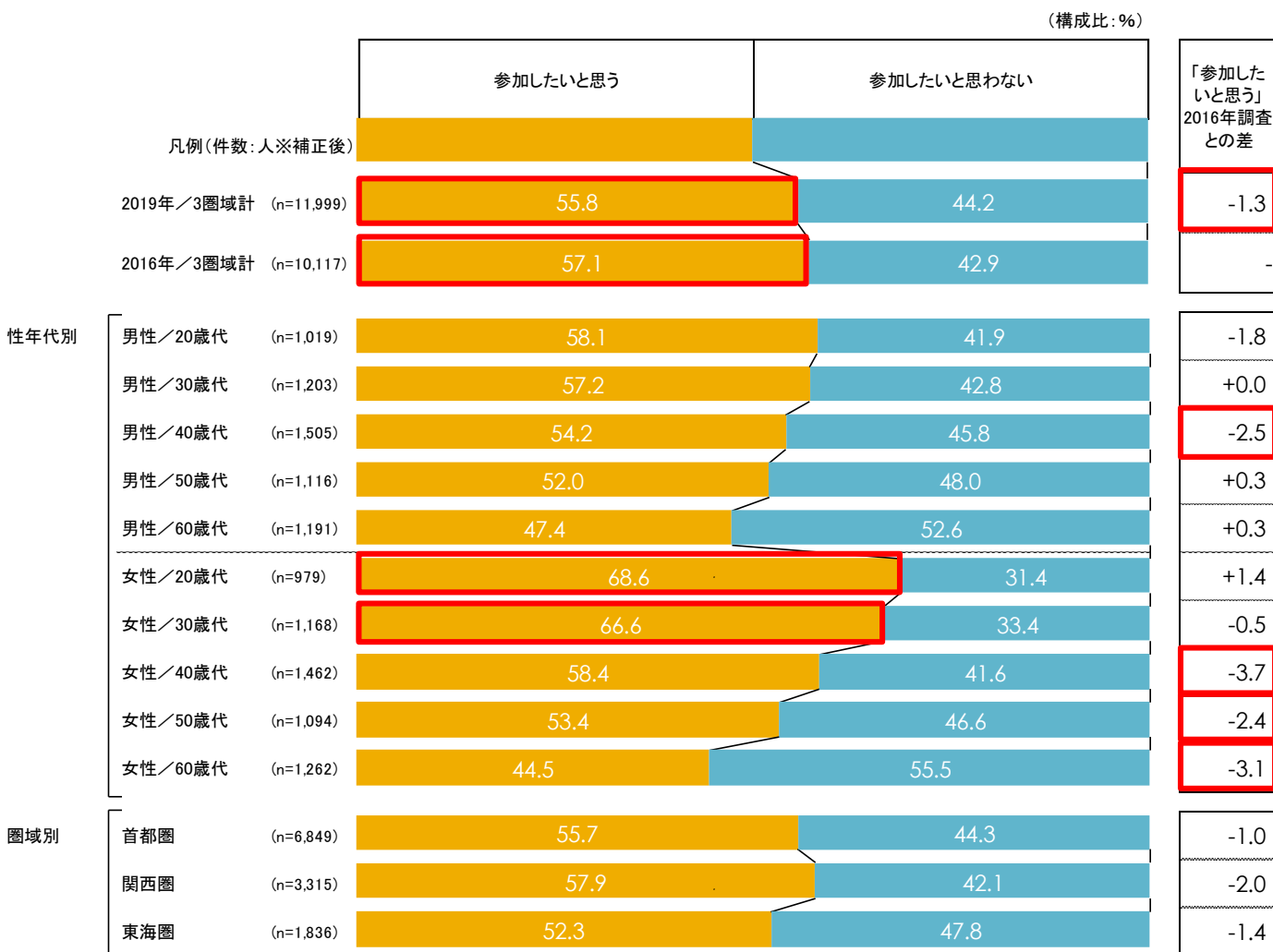
グレー 3圏域計より5ポイント以上低い項目

※2016年は、7月1日（金）～7月7日（木）に調査

3. 今後の「食フェス」への参加意向は55.8%、3年前に比べ微減

今後の「食フェス」への参加意向は55.8%。前回調査では57.1%だったので1.3ポイントのマイナスとなった。性年代別には、20代女性が68.6%で最も高く、次いで30代女性が66.6%など、現状主力の参加層で今後の参加意向も高い傾向にある。ただし、前回調査と比べると、参加意向がプラスとなっている性年代は20代女性、50・60代男性のみとなっており、多くの性年代で参加意向はマイナスとなっている。特に40・60代女性では前回調査比3ポイント以上のマイナス、40代男性と50代女性でも前回調査比2ポイント以上のマイナスになっており、もともと参加層の中心ではない層が「食フェス」離れの傾向にあることが分かった。順調に参加者を増やしてきた「食フェス」だが、今後は課題もありそうだ。

■今後の「食フェス」参加意向（全体／単一回答）



※2016年は、7月1日（金）～7月7日（木）に調査

※「参加したいと思う」2016年調査との差：（2019年調査）－（2016年調査）で算出

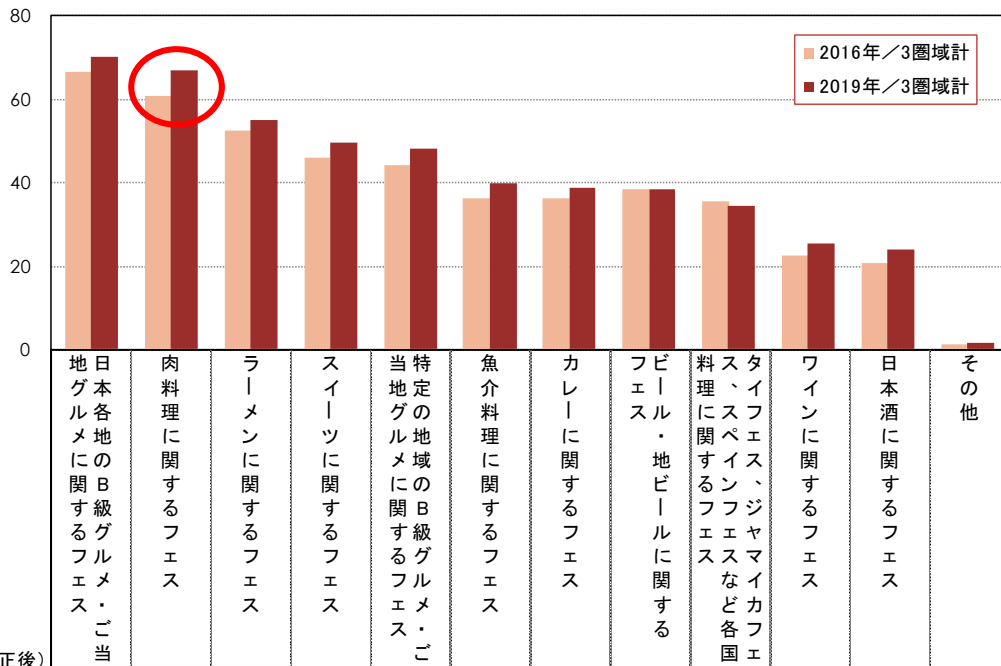
4. 今後参加してみたい「食フェス」、伸び幅では「肉料理」が1位 男女間で参加してみたいジャンルの差が大きい

今後参加してみたい「食フェス」のジャンルを聞いた。1位は「日本各地のB級グルメ・ご当地グルメに関するフェス」が70.0%、2位は「肉料理に関するフェス」が66.8%、3位は「ラーメンに関するフェス」が55.2%と、最近3年以内の参加フェスと同じトップ3であったが、前回調査からの伸び幅では、2位の「肉料理に関するフェス」が前回調査比+6.1ポイントと、1位の「日本各地のB級グルメ・ご当地グルメに関するフェス」（前回調査比+3.4ポイント）を上回っており、動員数の伸び等が予想される。また、男女で今後参加したい「食フェス」のジャンルの差が大きいことも分かった。男性が好むのは「肉料理に関するフェス」「ラーメンに関するフェス」「カレーに関するフェス」「ビール・地ビールに関するフェス」等。一方、女性は多くの年代で「日本各地のB級グルメ・ご当地グルメに関するフェス」「スイーツに関するフェス」「タイフェス、ジャマイカフェス、スペインフェスなど各国料理に関するフェス」等への参加意向が強い。

■今後、参加してみたい「食フェス」の種類

（今後「食フェス」に参加したいと思っている人／複数回答）

構成比(%)



(件数:人※補正後)

		件数	日本各地のB級グルメ・ご当地	肉料理	ラーメン	スイーツ	特定の地域のB級グルメ	魚介料理	カレー	ビール・地ビール	料理	タイフェス、ジャマイカフェス、スペイン	ワイン	日本酒	その他
2019年/3圏域計		6,690	70.0	66.8	55.2	49.8	48.2	40.0	38.8	38.5	34.5	25.3	24.0	1.7	
2016年/3圏域計		5,781	66.6	60.7	52.4	45.9	44.2	36.1	36.4	38.4	35.4	22.7	20.5	1.3	
性年代別	男性/20歳代	592	61.9	73.4	67.9	43.7	45.2	39.6	43.5	38.3	32.7	22.3	27.0	1.1	
	男性/30歳代	688	68.2	75.3	70.1	44.6	50.3	42.0	50.5	47.3	34.6	23.1	28.8	1.0	
	男性/40歳代	816	69.0	75.3	64.5	41.6	48.9	41.4	46.7	47.0	28.8	25.0	25.2	1.0	
	男性/50歳代	581	69.6	68.1	63.4	30.4	49.5	39.6	47.7	52.3	28.0	32.9	33.8	1.0	
	男性/60歳代	564	66.4	60.1	51.7	26.3	37.4	43.3	35.5	50.6	21.2	33.1	35.6	0.8	
	女性/20歳代	671	79.2	71.4	60.2	67.8	56.8	37.8	36.8	29.8	40.9	23.2	22.1	2.3	
	女性/30歳代	778	75.1	72.2	54.9	64.3	49.6	39.7	39.8	31.6	46.8	21.8	18.2	2.4	
	女性/40歳代	854	70.8	61.1	45.5	57.1	49.1	34.3	32.1	29.7	41.4	25.4	16.9	2.9	
	女性/50歳代	584	68.0	59.1	37.7	60.8	49.4	38.4	25.7	33.1	35.4	26.5	18.8	2.1	
	女性/60歳代	562	69.4	45.6	32.2	53.6	42.6	46.0	27.0	28.7	28.7	22.2	18.4	1.5	
圏域別	首都圏	3,812	69.2	66.8	56.1	48.3	47.4	42.2	40.2	40.1	37.3	27.1	24.7	2.0	
	関西圏	1,918	70.5	68.5	52.0	51.1	49.4	37.9	37.2	37.5	30.2	23.4	24.5	1.2	
	東海圏	959	72.3	63.2	57.8	52.9	49.2	35.3	36.4	34.5	32.0	22.3	20.7	1.4	

※2019年/3圏域計の多い順にソート

太字 3圏域計より5ポイント以上高い項目
 3圏域計より5ポイント以上低い項目

※2016年は、7月1日(金)～7月7日(木)に調査

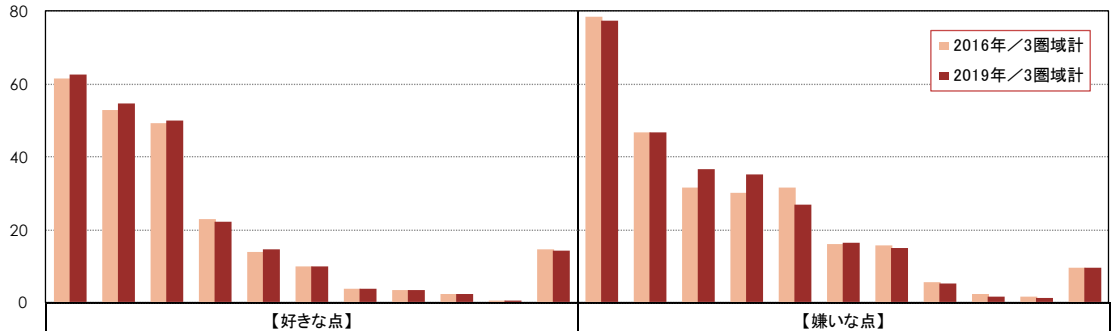
5. 課題は「混んでいる」こと

また、前回調査比では「高い、コスパが良くない」「天候に左右される」が増加傾向

「食フェス」の好きな点・嫌いな点について聞いた。好きな点では、1位「普段は食べられないものが食べられる、飲める」(62.5%)、2位「おいしいものが食べられる、飲める」(54.6%)、「一度にたくさんの種類が楽しめる」(50.0%)が挙げられた。一方、嫌いな点としては、1位「混んでいる」(77.5%)が好きな点のトップのポイントを上回った他、3位「高い、コスパが良くない」(36.7%)、4位「天候に左右される」(35.2%)が、前回調査比で+5ポイント以上上昇しており、課題になってきている。男女別では、圧倒的に女性で好きな点・嫌いな点双方のスコアが高い傾向にある。総じて見ると、「食フェス」は人気を博してジャンルが多様化し、開催数も増加してきたが、企画や会場等の都合で参加者・出展者双方にとって必ずしもベストとは言えない環境下での開催を強いられるケースも見られる。ブームに乗って急成長してきた平成とは変わり、今後の「食フェス」は峻別が進み、イベントの「質」が問われる時代になりそうだ。

■「食フェス」の好きな点・嫌いな点(全体/複数回答)

構成比(%)



(件数:人※補正後)

		件数	普段は食べられないものが食べられる、飲める	おいしいものが食べられる、飲める	一度にたくさんの種類が楽しめる	新しい食文化に触れられる	安い、コスパがいい	ワイ飲食すること自体が楽しい	おいしさよりも、フェス会場でワイ	食を通して、出店者と交流できる	ネタになる	人に自慢できる、SNSなどの投稿	制覇する楽しさがある	その他	好きな点はない	混んでいる	座って食べられない	高い、コスパが良くない	天候に左右される	衛生状態が不安	来場者のマナーが悪い	たくさん食べられない	おいしくない、本場の味が期待できない	地域貢献につながると思えない	その他	嫌いな点はない
2019年/3圏域計		11,999	62.5	54.6	50.0	22.2	14.6	10.0	3.8	3.4	2.4	0.3	14.2	77.5	46.6	36.7	35.2	27.0	16.4	14.8	5.3	1.8	1.1	9.5		
2016年/3圏域計		10,117	61.6	52.7	49.3	22.7	14.0	10.0	3.7	3.3	2.2	0.3	14.5	78.4	46.7	31.6	30.1	31.7	15.9	15.6	5.5	2.2	1.5	9.4		
性年代別	男性/20歳代	1,019	46.8	58.6	43.2	20.1	19.5	11.8	6.1	7.3	4.4	0.3	19.6	60.6	35.7	33.3	21.9	16.1	14.1	13.1	5.4	1.4	0.4	20.7		
	男性/30歳代	1,203	54.6	61.4	46.9	22.9	16.8	11.4	5.4	4.6	3.6	0.2	15.8	68.6	38.3	40.5	28.0	17.8	15.6	13.8	4.9	1.8	1.2	12.8		
	男性/40歳代	1,505	56.9	56.5	45.5	20.1	15.0	9.4	4.3	3.1	2.2	0.3	17.5	74.7	40.1	40.3	30.0	21.0	19.3	14.3	5.4	1.7	1.3	12.4		
	男性/50歳代	1,116	58.4	49.2	44.3	19.8	15.4	5.7	2.8	2.5	0.8	0.6	19.2	79.2	42.4	34.0	31.6	20.4	17.3	15.2	4.8	2.8	1.3	10.1		
	男性/60歳代	1,191	58.7	40.8	37.1	19.5	14.9	6.8	2.9	1.4	0.8	0.4	20.9	76.7	39.3	22.7	34.9	24.6	17.2	11.5	5.8	3.1	1.7	12.7		
	女性/20歳代	979	70.8	72.7	64.9	23.4	15.9	15.4	2.9	8.0	4.3	0.2	6.0	79.9	56.0	45.8	37.3	30.4	16.5	13.3	5.5	0.6	0.7	5.4		
	女性/30歳代	1,168	73.6	65.4	65.6	24.8	12.7	15.5	3.5	3.8	3.2	0.1	6.9	83.9	57.5	48.5	42.5	33.9	15.0	17.2	5.3	1.1	1.4	4.8		
	女性/40歳代	1,462	68.5	56.0	58.1	22.3	11.5	9.8	2.6	2.0	2.1	0.2	8.6	83.6	57.1	43.3	38.7	34.0	17.7	16.5	5.2	1.4	1.0	4.5		
	女性/50歳代	1,094	71.9	50.0	52.2	24.8	12.2	8.7	4.2	1.8	1.8	-	10.4	85.2	54.3	35.8	44.5	33.7	16.2	18.5	5.5	1.7	0.7	4.8		
	女性/60歳代	1,262	65.1	38.5	44.2	25.1	13.6	6.6	3.6	0.9	1.5	0.3	16.8	80.8	45.7	22.6	42.1	36.6	14.3	14.0	5.1	1.9	1.2	8.1		
圏域別	首都圏	6,849	61.8	54.9	49.7	22.8	14.8	10.2	3.7	3.3	2.1	0.3	14.6	78.2	47.8	37.5	35.4	26.2	16.6	15.1	5.2	1.8	1.0	9.7		
	関西圏	3,315	64.6	54.7	51.5	21.6	15.3	9.7	4.0	3.7	2.7	0.3	12.8	76.9	45.5	36.6	35.0	28.5	16.7	14.7	5.4	1.7	1.3	8.5		
	東海圏	1,836	61.6	53.1	48.7	21.0	12.9	9.4	3.7	3.1	3.0	0.1	15.5	75.9	44.3	34.1	34.7	27.1	15.2	14.0	5.4	1.7	1.1	10.9		

※2019年/3圏域計の多い順にソート

太字 3圏域計より5ポイント以上高い項目

■ 3圏域計より5ポイント以上低い項目

※2016年は、7月1日(金)~7月7日(木)に調査